

勤務医労働実態調査 2012

勤務医労働実態調査 2012 実行委員会

この調査は、勤務医の労働実態を把握し労働条件改善に役立てます。ご協力をよろしくお願いします。回答は番号を右の枠に記入し、「その他」は（ ）内に具体的に記述をお願いします。（ホームページは <http://chosa2012.union.or.jp>）

記入に関しては以下の点をご留意ください

1 - (5) 地域について（ここでは以下の様に分類します）

- ①都市部：東京・大阪の全地域、各県における県庁所在地の市や政令指定都市など
- ②一般地域：上記を除く市など
- ③過疎地域：郡・町・村など

1 - (6) 公的病院

ここでの公的病院とは、民間病院以外の準公的な病院をさし日赤、厚生連、社会保険病院、済生会病院等を含みます。

2. あなたの働き方についてお尋ねします

ここでは、当直という言葉を使っていますが、正確にはほとんど勤務の必要がない宿直と通常業務が含まれる時間外労働に分かれます。しかし、この違いが多くの医療現場では理解されていないため、一般的に使われている当直という言葉を使用しています。

5 - (3) 特定看護師

日本の看護師とは、医師の指導の下、医療行為を行うことができますが、より高度な医療行為に携わることができるよう、高い医学的判断力と技術を有する看護師を特定看護師として認定しようとする制度を作る動きがあります。

5 - (4) フィジシャンアシスタント (PA)

フィジシャンアシスタントとは、主に病院において医師の監督のもとに診察、手術の補助などをカバーする医療従事者のことをさします。

1. あなたご自身についてお尋ねします

- (1) 年齢：①20歳代 ②30歳代 ③40歳代 ④50歳代 ⑤60歳以上
- (2) 性別：①男 ②女
- (3) 世帯状況：①未婚 ②既婚
- (4) 主たる担当診療科目：
①一般内科（家庭医・総合医を含む） ②呼吸器科 ③消化器科 ④循環器科 ⑤神経内科
⑥その他の内科 ⑦外科 ⑧小児科 ⑨産婦人科 ⑩救急科 ⑪麻酔科 ⑫脳神経外科
⑬整形外科 ⑭精神科 ⑮眼科 ⑯耳鼻咽喉科 ⑰皮膚科 ⑱泌尿器科 ⑲放射線科
⑳リハビリテーション科 ㉑病理科 ㉒基礎などの研究者 ㉓初期研修中 ㉔その他（ ）
- (5) ア) 勤務先の都道府県名 イ) 地域：①都市部 ②一般地域 ③過疎地域
- (6) いま働いている病院の開設主と規模：
ア) ①大学病院 ②国公立病院 ③公的病院（日赤・厚生連・済生会など） ④私的病院 ⑤診療所
⑥その他（ ）
- イ) 病床数：約（ ）床
約 床
- (7) 雇用形態について：
ア) ①常勤 ②非常勤 ③初期研修医 ④後期研修医 ⑤大学院生
イ) 主たる勤務病院以外の勤務はありますか： ①ある ②ない
ウ) 「ある」と答えた方の勤務形態は： ①常勤 ②非常勤 ③研修医
- (8) 勤務先でのポスト：
ア) ①雇われ院長 ②副院長 ③診療部長及び科長クラス ④一般医師
イ) 大学の場合： ①教授 ②准教授 ③講師 ④助教 ⑤大学院生 ⑥医員

(9) 雇用の経緯：

- ア) ①自分で選んだ ②大学からの派遣 ③一時的な研修目的 ④その他 1 (9) ア)
- イ) 大学派遣の場合、自分の意思が尊重されましたか 1 (9) イ)
- ①尊重された ②ある程度された ③全くされない ④その他 ()

(10) 雇用契約書について：

- ア) ①詳細な契約書がある ②簡単な契約書がある ③契約書がない ④わからない 1 (10) ア)
- イ) 契約書がある場合、契約書の内容は守られていますか： ①はい ②いいえ 1 (10) イ)

(11) 賃金形態（奨学金・バイト料は除く）：

- ①月給制 ②年俸制 ③日給制 ④無給 1 (11)
- ⑤その他 ()

2. あなたの働き方についてお尋ねします

(1) 入院患者の受け持ちを担当していますか：

- ア) ①はい ②いいえ 2 (1) ア)
- イ) 「はい」と答えた方：平均的な担当入院患者数：(1日平均 人) 2 (1) イ)

(2) 夜間、休日の救急医療や重症者対応の勤務体制：

- ア) 当直、日直制 → 月の平均的な当直回数：(回) 日直回数：(回) 2 (2) ア) 当直の回数 日直の回数
- イ) 待機、拘束の回数：(回) → 月の平均的な呼び出し回数：(回) 2 (2) イ) 拘束の回数 呼び出し回数
- ウ) 当直、日直の内容： ①通常勤務と変わらない ②通常勤務よりも労働量は少ないが、
診断・治療など通常業務を行う ③ほとんど通常業務は行わない 2 (2) ウ)
- エ) 交替制勤務の有無と形態： ①交代制なし ②2交替制 ③3交替制 2 (2) エ)
- オ) その他 ()

(3) 当直明け後の勤務の有無：①1日勤務 ②半日勤務 ③勤務なし 2 (3)

(4) 平均実労働時間 ア) 1日：(時間 分) イ) 1週：(時間 分) 2 (4) 1日 2 (4) 1週

※救急や重症患者対応の日常的な診療を行う日当直は全て時間外労働となります。

(5) 最長の連続した勤務時間：(時間 分) 2 (5)

(6) 労働時間の管理の方法 ①タイムカード等の客観的管理 ②自己申告 ③管理なし 2 (6)

(7) 時間外労働（残業）：

- ア) 日勤時に終業時間より平均的な1日の時間外労働時間：(大体 時間 分) 2 (7) ア)
- イ) 先月の総時間外労働時間：(1ヶ月分大体 時間 分) 2 (7) イ)

(8) 時間外労働の請求をしていますか：

- ①全額請求している ②請求できる時間に上限がある ③時間に関係なく定額支給
- ④時間外手当はない ⑤請求しない 2 (8)

(9) 休憩時間は規定時間通り取れますか：

- ①十分取れる ②まあまあ取れる ③あまり取れない ④まったく取れない 2 (9)

(10) 休みの取得（土・日・祝日を含む。また、非常勤の場合は勤務や研修など仕事のなかった日）

- ア) 前月は何日休みましたか：(日) 2 (10) ア)
- イ) 常勤医のみお答えください。昨年1年間の年次有給休暇（年休）の取得日数：(日) 2 (10) イ)

(11) このアンケートの記載に関しては、タイムカードや医師ユニオンのワーク・ノートの使用など

客観的データに基づいての記載ですか： ①はい ②いいえ 2 (11)

2 (11)

3. 医療の安全性に関して

(1) 医事紛争（訴訟等）の経験の有無：

ア) ①ある ②ない 3 (1) ア)

3 (1) ア)

イ) 「ある」と答えた方、経験したのは ①1年以内 ②5年以内 ③5年以上前 3 (1) イ)

3 (1) イ)

(2) 医療トラブルによる精神的ストレスについて：

①診療に支障をきたすストレスがある ②かなりストレスがある ③多少ストレスはある

④ストレスはない 3 (2)

3 (2)

(3) 医療過誤の原因についてどう考えていますか。回答欄に○をつけてください（複数回答可）..... 3 (3)

①過剰な業務のために慢性的に疲労している ②患者1人に対する診療時間や治療計画等に使える時間がたりない ③医療スタッフの人員不足 ④医療スタッフの連携不足 ⑤事故防止システムが不十分で、個人の責任にされている ⑥医療技術の高度化や患者の増加で医師の負担が増加している

3 (3)	1	2
	3	4
	5	6
	7	

⑦その他（)

4. あなたのいまの健康状態や職場に対する気持ちについてお尋ねします

(1) 健康状態： ①健康である ②健康に不安 ③大変不安 ④病気がちで健康とはいえません 4 (1)

4 (1)

(2) 疲れの回復状態：

①べつに疲れを感じない ②疲れを感じるが翌日までには回復する

③疲れが翌日まで残ることが多い ④休日でも回復せずいつも疲れている 4 (2)

4 (2)

(3) 精神的なストレスについて：

①投薬などの治療を受けている ②強いストレスを感じている（治療なし）

③ストレスを感じる事が多い ④あまりストレスは感じない 4 (3)

4 (3)

(4) あなたは最近「職場をやめたい」と思うことがどの程度ありましたか：

①いつもあった ②時々あった ③まれにあった ④なかった 4 (4)

4 (4)

5. 医師労働における業務負担軽減に関して（初期研修医を除く）

(1) あなたの業務負担（回答者個人）は、この2年間で変わりましたか：

①減った ②増えた ③変わらない 5 (1)

5 (1)

(2) 負担軽減及び負担増の内容：

ア) 勤務時間： ①減った ②増えた ③変わらない 5 (2) ア)

5 (2) ア)

イ) 日当直回数： ①減った ②増えた ③変わらない 5 (2) イ)

5 (2) イ)

ウ) 診療時間： ①減った ②増えた ③変わらない 5 (2) ウ)

5 (2) ウ)

エ) 文書作業： ①減った ②増えた ③変わらない 5 (2) エ)

5 (2) エ)

オ) 診療以外の勤務時間（文書作業を除く）： ①減った ②増えた ③変わらない 5 (2) オ)

5 (2) オ)

カ) 精神的なストレス： ①減った ②増えた ③変わらない 5 (2) カ)

5 (2) カ)

キ) その他（)

(3) あなたの病院はメディカル・クラークなどを負担軽減のために利用していますか：

①積極的に利用している ②ある程度利用している ③利用していない ④わからない 5 (3)

5 (3)

(4) あなたは特定看護師制度に賛成ですか、反対ですか：

①賛成 ②内容しだいで賛成もある ③反対 ④わからない 5 (4)

(5) フィジシャンアシスタント (PA) の導入に賛成ですか：

①賛成 ②内容しだいで賛成もある ③反対 ④わからない 5 (5)

(6) あなたの病院には勤務医の労働問題を話し合う場がありますか：

①ある ②特別な制度はないが医局で一定話し合いができる ③ない 5 (6)

④その他 ()

6. 医師数と医師の偏在について

(1) 医師養成数について：

①現在の養成数で十分 ②養成数をもう少し増やすべき ③OECD並みにふやすべき ④わからない 6 (1)

(2) 医師の偏在について：

ア) 地域の偏在について：都市部の生活の利便性が関係していると思いますか：

①大きく関係している ②ある程度関係している ③ほとんど関係ない 6 (2) ア)

イ) 診療科の偏在について：労働条件の違いが関係していると思いますか：

①大きく関係している ②ある程度関係している ③ほとんど関係ない 6 (2) イ)

7. あなたの病院で行なわれている医師確保対策についてお尋ねします

(1) あなたの病院では医師不足を感じていますか： ①はい ②いいえ 7 (1)

(2) 医師確保、退職防止に必要な条件・環境について、該当するものをすべて選び回答欄に○をつけてください：

①賃金や労働条件の改善 ②医療事故防止対策の充実 ③医師住宅 ④保育所など福利厚生
 ⑤女性医師への配慮 ⑥診療科の体制充実 ⑦学会、研究会への参加・出張の保障
 ⑧看護師・コメディカルを充実し医療体制のレベルアップ ⑨研修医の受け入れの改善
 ⑩医局運営の改善 ⑪国や自治体、大学の対応の改善 ⑫その他 ()

1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12

8. 女性の方への質問 ((2)～(4)は妊娠経験者への質問です)

(1) 生理休暇は毎月とっていますか： ①取っている ②時々取っている ③取れない 8 (1)

(2) 子供の有無：ア) ①有 ②無) イ) 子供の人数・年齢 8 (2) ア) 8 (2) イ)

(3) 妊娠の状況について、該当したものをすべて選び回答欄に○をつけてください：

①順調 ②つわりひどい ③切迫流産 ④妊娠中毒症 ⑤その他 () 8 (3)

(4) 妊娠時に受けた保護・支援措置をすべて選び回答欄に○をつけてください：

①特に措置は受けなかった ②夜勤や当直免除 ③夜勤や当直回数の軽減 ④時間外勤務の免除
 ⑤時差通勤 ⑥つわり休暇 ⑦通院休暇 ⑧配置転換 ⑨その他 ()

1	2	3
4	5	6
7	8	9

9. 医師不足や過重労働の実態、また勤務・体制等への要望を自由に記入して下さい

(ご協力ありがとうございました)